

第356回教育研究評議会議事要録

1. 日 時 令和3年4月27日（火） 13:30～15:35
2. 場 所 経済大会議室（一部web参加）
3. 出席者 三浦学長、塩谷理事・副学長、二見理事・副学長、
三上理事・事務局長、谷副学長、佐野副学長、塘副学長、
初澤人間発達文化学類長、井實評議員、中村評議員
垣見行政政策学類長、高橋評議員、福島評議員
末吉経済経営学類長、岩井評議員、福富評議員
神長共生システム理工学類長事務代理、長橋評議員
生源寺食農学類長、荒井評議員、金子評議員
小野原基盤教育主管、難波環境放射能研究所長
【オブザーバー】緑川理事、上井監事、橋本監事
4. 欠席者 佐藤共生システム理工学類長、高橋理事

5. 議事

【確認事項】

なし

【審議事項】

(1) 共生システム理工学類長の辞任に伴う後任者の任期について

三浦学長から、資料5に基づき、共生システム理工学類長の辞任に伴う後任者の任期について、現共生システム理工学類長の残任期間である令和5年3月31日まで（1年11か月）とする旨提案があった。

審議の結果、提案のとおり承認され、各学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。

(2) 第4期中期目標期間に向けた教員養成大学・学部等における構想に関する調書の作成及び文部科学省との意見交換について

三浦学長から、資料6に基づき、教員養成学部・教職大学院・附属学校を置く国立大学法人と文部科学省との間で、第3期中期目標期間における教員養成学部・教職大学院・附属学校に関する現状や課題、第4期中期目標期間に向けた方向性を共有するため、調書を作成したことについての報告及びこの調書を文部科学省に提出することについての提案があり、引き続き、谷副学長から、調書の内容について説明があった。

審議の結果、提案のとおり承認され、各学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。

(3) 福島大学名誉教授の称号授与について

塩谷理事・副学長から、資料7に基づき、各学類から推薦のあった令和3年度の福島大学名誉教授の称号授与について提案があり、当該学類長及び学類長事務代理から、推薦内容について説明があった。

審議の結果、提案のとおり承認され、各学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。

(4) 大学院の改革について

塩谷理事・副学長から、資料8に基づき、第355回教育研究評議会（4月20日開催）において報告のあった、大学院教育プログラム検討WGの最終報告への各学類教員会議・研究科委員会からの戻り報告に対する、役員会からの回答について説明があった。引き続き、第355回教育研究評議会及び大学院改革説明会（4月21日開催）で出された質問、意見及び要望等について紹介があり、これらの対応については、各学類・研究科で集約中の意見等とあわせて、後日文書で回答する旨説明があった。また、骨子案 Ver.6 の策定に向けた当面のスケジュールについて説明があった。

質疑応答の中で、①新研究科における教員の配置の方針、②大学院改革における教員養成の取り扱い、③役員会における教員養成の考え方、④各研究科における質問・意見・要望等の提出、学生定員数の検討及び全学的な流れの確認、⑤環境放射能学専攻博士前期課程における学生定員数の変更についての質問及び意見が出された。

「①」については、塩谷理事・副学長から、基本的には学系に基づいた配置となるが、人の異動もあるとの説明があった。

「②」については、塩谷理事・副学長から、大学院改革の中でも教員養成に関わることはあるものの、別議題として取り扱うことを教育研究評議会で確認しており、大学院改革においてはこのことについて深く踏み込んでいないとの説明があった。

「③」については、谷副学長から、教員養成の総括は新たなセンターをつくり行うことになるとの説明があり、引き続き三浦学長から、研究科の教員養成は各新研究科において考えていくべきことであり、人間発達文化学類・研究科においても教員養成についての考え方を整理しておく必要があるとの発言があった。

「④」については、塩谷理事・副学長から、新研究科における学生定員数の検討の流れについて説明があり、各学類及び研究科へ検討を依頼する点について説明があった。

「⑤」については、大学院改革室から、文部科学省に環境放射能学専攻博士前期課程における定員数の変更が可能である旨を確認したとの説明があった。

審議の結果、提案のとおり承認され、各学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。

【報告事項】

(1) キャリアセンター設置に向けた調査結果及び提案について

佐野副学長から、資料1に基づき、キャリアセンターの設置について提案があり、小野原基盤教育主管からキャリアセンター設置に向けた調査結果について説明があった。引き続き、谷副学長から、キャリアセンターにおけるキャリア教育について説明があった。

質疑応答の中で、キャリア教育におけるインターンシップの位置付けについて意見があり、佐野副学長より、意見を踏まえ、今後設置するワーキンググループにおいて検討していくとの説明があった。

各学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。

(2) 国立大学法人福島大学と三春町との包括連携協定の締結について

二見理事・副学長から、資料2に基づき、国立大学法人福島大学と三春町との包括連携協定の締結について報告があった。引き続き、齋藤研究・地域連携課長から、協定書（案）の詳細について説明があった。

各学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。

(3) 令和3年度科学研究費助成事業採択状況について

二見理事・副学長から、資料3に基づき、令和3年度科学研究費助成事業採択状況について、配分額、採択件数、新規採択率等の説明があった。

各学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。

(4) 令和4(2022)年度の科学研究費助成事業の公募、内定時期の前倒し等について

二見理事・副学長から、資料4に基づき、令和4(2022)年度の科学研究費助成事業の公募、内定時期の前倒し等について報告があり、大型の研究種目（特別推進研究・基盤S・基盤A・帰国発展研究）が約2か月前倒しとなり、その他の種目は約1か月の前倒しとなる旨説明があった。

各学類教員会議へ、会議運営サイト掲載資料参照の上、報告することとした。